

経済・金融
フラッシュ雇用関連統計 25 年 9 月－女性の正
規雇用比率が 50%に近づく

経済研究部 経済調査部長 斎藤 太郎

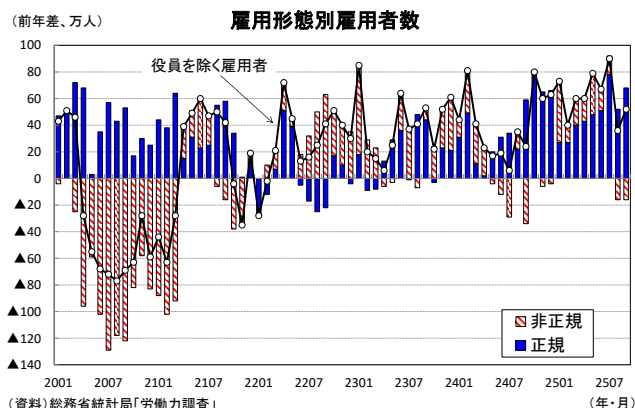
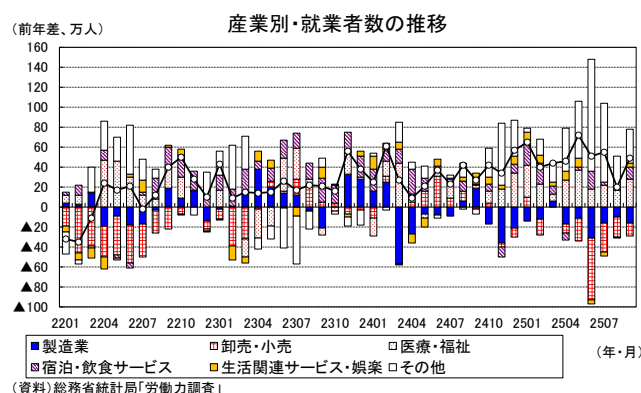
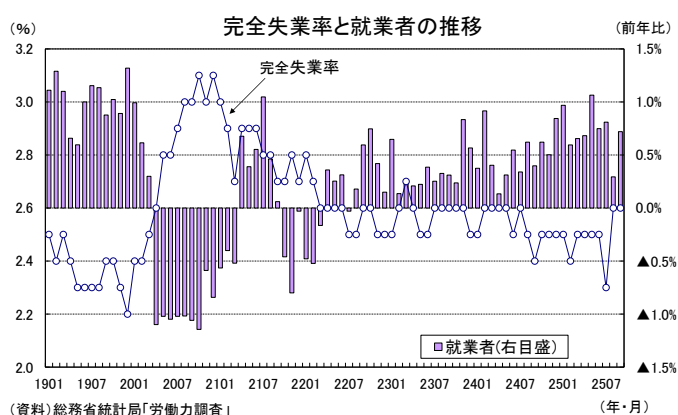
TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

1. 失業率は前月から横ばいの 2.6%

総務省が 10 月 31 日に公表した労働力調査によると、25 年 9 月の完全失業率は前月から横ばいの 2.6%（QUICK 集計・事前予想：2.5%、当社予想も 2.5%）となった。

労働力人口が前月から 25 万人の増加となる中、就業者数が前月から 24 万人増加し、失業者数は前月から 2 万人増加の 181 万人（いずれも季節調整値）となった。失業者数は前月から若干増加したが、就業者数が前月から大幅に増えており、内容的には悪くない。

就業者数は前年差 49 万人増（8 月：同 20 万人増）と 38 ヶ月連続で増加し、増加幅は前月から拡大した。男女別には、男性が前年差 4 万人増と 4 ヶ月ぶりに増加、女性が前年差 45 万人増と 43 ヶ月連続で増加した。女性の就業者数（季節調整値）は前月から 13 万人増の 3138 万人となり、過去最高を更新した。

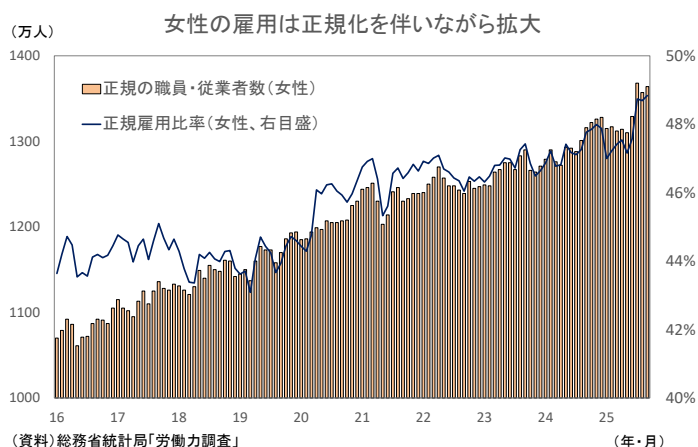


産業別には、製造業（前年差 16 万人減）、卸売・小売業（同 13 万人減）は 6 ヶ月連続で減少し

たが、宿泊・飲食サービス業（同 12 万人増）が 2 ヶ月ぶりに増加し、医療・福祉（前年差 28 万人増）は 13 ヶ月連続で増加した。

雇用者数（役員を除く）は前年に比べ 52 万人増（8 月：同 36 万人増）と 43 ヶ月連続で増加した。雇用形態別にみると、正規の職員・従業員数が前年差 68 万人増（8 月：52 万人増）と 23 ヶ連続で増加する一方、非正規の職員・従業員数が前年差 16 万人減（8 月：同 16 万人減）と 2 ヶ月連続で減少した。

季節調整値では、女性の正規の職員・従業員数が前月から 7 万人増の 1364 万人となり、正規雇用比率（役員を除く雇用者数に占める正規の職員・従業員数の割合）は前月から 0.1 ポイント上昇の 48.8%となった。女性の正規雇用比率は 13 年 1 月の調査開始以来、最高水準を更新した。女性の雇用は正規化を伴いながら拡大している。

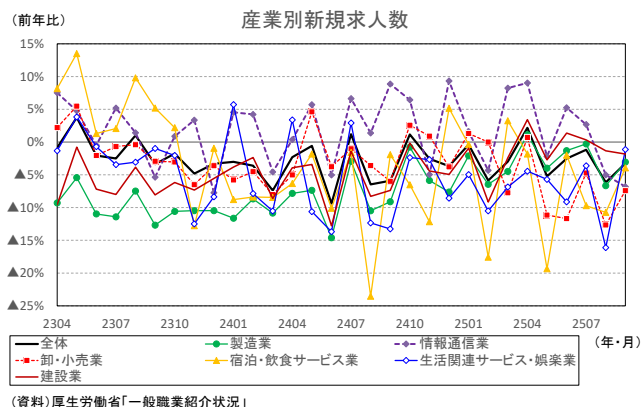
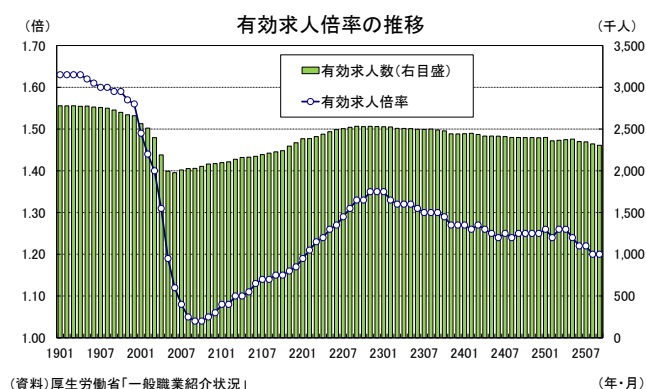


2. 有効求人倍率は横ばい

厚生労働省が 10 月 31 日に公表した一般職業紹介状況によると、25 年 9 月の有効求人倍率は前月から横ばいの 1.20 倍(QUICK 集計・事前予想：1.20 倍、当社予想も 1.20 倍)となった。有効求人数が同▲0.7%の減少、有効求職者数が前月比▲0.8%の減少となった。

有効求人倍率の先行指標である新規求人倍率は前月から 0.01 ポイント低下の 2.14 倍となった。新規求人数が前月比▲4.0%の減少、新規求職申込件数が同▲3.7%の減少となった。

新規求人数（原数値）は前年比▲3.2%（8 月：同▲6.2%）と 5 ヶ月連続で減少した。産業別には、運輸・郵便業（前年比 0.7%）は 2 ヶ月ぶりに増加したが、宿泊・飲食サービス業（同▲3.9%）が 6 ヶ月連続、製造業（前年比▲3.1%）、卸売・小売業（同▲7.4%）が 5 ヶ月連続で減少した。



本資料記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と完全性を保証するものではありません。また、本資料は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。